

謹賀新年



今月の主な内容

- 新年のご挨拶
- 相互交流事業 ニュージーランド派遣
- 税に関する表彰・入賞作品

今月の表紙

朝日に照らされ 雪原に根を張る1本の木
皆さまにとって希望に満ちた年になりますように

新年を迎えて

湧別町長

加藤 政弘



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎え、皆さまにおかれましては輝かしい新年をお過ごしであることと心よりお祝い申し上げます。

また、日頃から町政へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、昨年11月15日に湧別町長に就任させていただきました。それ以前は議会議員として町政に携わってまいりました。就任して間もない状況ではありますが、これまでの経験を生かしながら、町民の皆さまとともに湧別町の更なる発展を目指して日々努めております。皆さまから寄

せられるお声やご縁が、私に新たな町政の原動力を与えてくださることを大変心強く感じております。

昨年を振り返りますと、国内では大きな出来事が相次ぎ、私たちの生活や地域を直撃する課題が数多く浮き彫りになった1年でありました。

経済情勢に目を向けますと、物価高騰が続く中で高市新内閣が発足し、経済対策を積極的に推進する姿勢が示されております。エネルギー価格や生活必需品の値上がりが家計を圧迫し、私たちの生活に不安を与える状況に対し、国では『重点支援地方交付金』の拡充を通じて補助金や消費刺激策などの施策が進められており、私たち地方自治体もこうした国の政策と密接に連携し、町民の皆さまが安心して生活を営める環境を整えるために努力してまいります。

また、昨年12月に発生した青森県東方沖を震源とする地震では、青森県八戸市で震度6強が観測され、国内で初めての後発地震注意情報が発表されるなど、これまでにない対応を求められる状況となりました。私自身も就任早々この地震を経験し、自然災害の恐ろしさを深く実感するとともに、改めて地域全体の安全性を高める重要性を痛感しております。こうした災害対応のみならず、町民の皆さまの安心・安全な暮らしを実現するための準備を整えていく必要があると考えております。

さて、今年は干支である「午（うま）」の年です。馬は古来より「勢よく駆ける」姿から、発展や飛躍、そしてエネルギーシユな動きを象徴する動物とされてきました。これを私たちの町政にあてはめて考えるならば、この1年を町民の皆さまとともに挑戦を恐れず、新たな目標へと大きく飛躍する1年にしたいと考えております。馬が力強く地を蹴るように、現状を見据えながら積極的に次のステージへと進むことが、未来への希望を育む原動力となると思っております。

町長としての歩みは始まったばかりでございますが、魅力ある地域を目指すし、産業の活性化や地域資源を生かした観光振興あるいは災害対策など、次世代へつながる社会づくりに力を注いでまいります。また、人口減少が進む中でも「住み続けたい」と思える町を実現するため、子育て支援の強化、高齢者サービスの充実、地域コミュニティの活性化などの取り組みを進め、町民の皆さまお一人おひとりに寄り添った政策を実現してまいります。

結びに、本年が町民の皆さまにとって充実した一年となり、健康とご多幸に恵まれますことを心よりお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

皆さまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます

湧別町

町長 加藤 政弘

湧別町教育委員会

教育長 阿部 勉

湧別町農業委員会

会長 吉村 智之

湧別町選挙管理委員会

委員長 高橋 直司

湧別町監査委員

代表 水野 豊

湧別町消防団

団長 高橋 直司

迎春

新年のご挨拶

湧別町議会議長

脇坂 敏夫



謹んで新春のお慶びを申し上げます。令和8年の輝かしい幕開けにあたり、湧別町議会を代表して町民の皆さまに心より新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃より議会運営に関し多くのご支援とご協力を賜りましたこと、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

昨年は町長選挙ならびに町議会議員選挙を経て、新たな体制が発足いたしました。町民の皆さまが貴重な一票を通じて示されたご期待に応えるべく、議会としてはこれまで以上に公正で活発な議論を重ね、町民一

人ひとりの声にしつかりと耳を傾けながら取り組みを進めてまいります。幸いなことに湧別町は、町民の皆さまの努力の成果もあつて財政的に良好な状況にあります。しかし、新たな視点を持ち、議論を深めることで、今後の町政運営がさらに発展を遂げるよう、新体制のもとで一丸となつて努力してまいります。

さて、令和7年もたくさんの方が話題となりました。

高市早苗氏が女性初の内閣総理大臣に就任し、流行語大賞を受賞するなど時の人となりました。

スポーツでは、アメリカ大リーグでの日本人選手の大活躍、北海道日本ハムファイターズの躍進など、筋書きのないドラマを見せてくれました。

町内に目を向けると、少年野球、吹奏楽、陸上など多くの競技で全国大会や全道大会に出場するなど、湧別町の未来を担う子どもたちの活躍が見られました。

また、チューリップフェアや屯田七夕まつり、産業まつりなど町内のイベントも大盛況で大いに盛り上がりを見せました。

その一方で、令和の米騒動といわれるお米価格の上昇、それ以外にも

多くの品物の価格が高騰し、物価高が続いています。特にエネルギー価格や食料品価格が引き続き上昇傾向にあり、多くの町民の皆さまが日々の暮らしに困難を感じていらっしゃると思います。

湧別町ではこれまでもさまざまな対策を講じてまいりましたが、議会としては引き続き行政と連携しながら、町民生活への負担を少しでも軽減する施策を追求してまいります。

平成21年の合併以降、湧別町は、町民一人ひとりの力を結集させることで地域課題を乗り越え、発展を遂げてきた町です。スポーツや文化活動を通じて町民の絆を深めると同時に、時代に即した政策を実現し、町全体が継続的な発展を果たしてまいります。

令和8年という新しい年も、この基盤をさらに強固なものにしつつ、「住みたい」「住み続けたい」と言われる町づくりを目指してまいります。

結びに、本年が皆さまにとつて実り多き一年でありますよう、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹んで

新春のお慶びを申し上げます

湧別町議会

議長 脇坂 敏夫

副議長 下田 英人

総務厚生常任委員会委員長

村川 勝彦

産業文教常任委員会委員長

小形 秀和

議会運営委員会委員長

高田 映二

議員

村瀬 直由

大野 真紀

竹林 直人

姉崎 正弥

檜山 洋一

関野 一良

令和7年度 相互交流事業 中高生ニュージーランド派遣



11月4日から14日までの11日間、中高生5人（湧別高校1人、遠軽高校1人、飛鳥未来高校1人、上湧別学園1人、ゆうべつ学園1人）と引率者2人の計7人が、友好都市であるニュージーランドのセルウィン町などを訪問しました。

ホストファミリーと上手くコミュニケーションを取り、ニュージーランドの生活を満喫する一方、自分の目標達成のため一生懸命たくさんの事を学んできた派遣者のレポートをご紹介します。

※紙面の都合上、抜粋して掲載しています。全文は町ホームページと図書館で公開しています。



町ホームページ



ニュージーランド派遣について

湧別高等学校 3年 加藤 優希

私はニュージーランドの人々の価値観を学ぶ、英語力を鍛える、そして現地の文化を楽しむという目標を立てました。一つ目のニュージーランドの人々の価値観を学ぶという目標はホストファミリーやダーフィールドハイスクールでの先生や生徒、現地の人の接し方から学び、目標を達成できたと思います。

ダーフィールドハイスクールの授業で「ハラケケ」という葉っぱを使ってプレスレットやバラを作っていたのですが、私は最初から最後まで悪戦苦闘していました。それでも、その授業の先生は最初から最後まで自分に付き添って教えてくれました。私は迷惑をかけてしまったと思ったのですが、先生はどんなときもニコニコしていて、優しく教えてくれました。

二つ目の英語力を鍛えるという目標に関しても達成できたと思います。しかし、私はカタカナ英語に慣れているため、現地の人と話している本当の英会話についていくことができず何度も聞き直したり、アプリを使って翻訳をすることもありました。それでも、何とかホストファミリーやバディ、先生や店員さんとコミュニケーションを取ることができ、ニュー

ジーランドに行く前よりはスムーズにできたのではないかと思います。

三つ目の文化を楽しむという目標も達成できたと思います。私は現地での自然や動物、建物を見たり現地の食事を楽しむことができました。日本とは違う自然がニュージーランドにはたくさんあり、中でも印象に残ったものがキャッスルヒルの岩やクライストチャーチの展望台に生えていたタリックというイネ科の植物です。動物はたくさんの種類がいて、極めて希少な鳥のタカヘ、国鳥のキーウィ、多くの羊などがいました。

私がこの研修に参加することができたのは、たくさんの人の協力があったからだと思います。みなさん、本当にありがとうございました。



ニュージーランド派遣について

遠軽高等学校 3年 内野 凜

私はニュージーランドに留学してみて、たくさんの事を学びとても良い経験をする事ができました。この留学で将来的に必要なコミュニケーションスキルを上げたいというのと、ニュージーランドの文化について知りたいと思い参加しました。

最初の頃は、ホストファミリーが何を言っているのが全く分からず早くもめげそうになりましたが、曖昧な英語でも自分の言葉でなるべく話したいと思い、英語が分からなくてもたくさんコミュニケーションを取れたかと思っています。

ニュージーランドの文化についても多くのことを学ぶことができました。学校では授業でマオリについて一日学ぶ機会があり、マオリについて知ることができました。バディとフライブレッドというマオリの伝統的な揚げパンを作って食べたり、ハラケケという丈夫な葉を使い、プレスレットや花を作りました。

ニュージーランドの学校は日本の学校と比べるとラフな印象を受けました。小学生からピアスやネックレスを

つけたり、髪色を変えたりしていたり、休み時間もみんな外に出てそれぞれの時間を過ごしていました。そして、生徒のみんなはとてもフレンドリーでたくさん声を掛けてくれて、人の温かみをとても感じました。

私はこの留学でたくさんの事を学び、自分の自信になるものを得ることができ、ホストファミリーや学校のバディとのたくさんの思い出を作ることができました。

最初はとても不安でやっていけるかなと思っていましたが、ホストファミリーや周りの方のおかげで楽しくてとても濃い留学生活を送ることができました。この経験を生かして進学した後もその先も頑張っていきたいと思っています。



ニュージーランド派遣について

飛鳥未来高等学校 3年 久保 優心

私は中学生の頃、留学に行きたくて仕方ありませんでした。キラキラした部分だけを見ていて、留学をただで自分が変われると思っていたからです。ですが、高校生の私は留学に行ってみたい気持ちと行きたくない気持ちがありました。自分自身が高校で色んな経験をして自分に自信もなかったし、結局自分には無理だと半ば諦めていたからです。この交流事業が今年開催されると知った時、正直行きたくないと思いました。でも父や母、姉が背中を押してくれて参加することになりました。

交流事業に参加してみた今、私は本当にニュージーランドに行ってきたと思っています。私がみていたちっぽけな世界だけでなく、こんなにも違った世界があることを知れ、周りの目を気にせずに過ごせる場所に出会いました。

ニュージーランドと日本で人の価値観が大幅に違うと思うところはありましたが、ニュージーランドの普通と日本の普通は違うということに気付くことができ

ました。ダーフィールドの生徒はピアスをあけ、髪を染め、メイクもしておしゃれを楽しんでいました。街中では裸足で歩いたり、日本では視線を向けられるようなノンスリーブやタイトな服などもみんな気にせずに着ていました。また、ショッピングの際は、店員さんと目が合うと笑顔で挨拶をしてくれます。知らない人でもフレンドリーに挨拶し合うところが本当に素敵だと感じました。反対に日本の良いところも感じる事ができました。ご飯の美味しさや礼儀、丁寧さなどです。

言葉の壁は大きく感じましたが、優しい人が多くて初めての海外はとても良い思い出になりました。



ニュージーランドでの学び

上湧別学園 8年 村上 謙心

初めての海外は楽しみよりも不安の方が大きく、英語が上手く通じるのか、ホストファミリーに上手く馴染めるのか、学校で友達ができるのかなど、色々なことを考えてしまいました。しかし、いざニュージーランドに着いたら、思ったよりなんとかなるかと安心しました。

滞在中はダーフィールドハイスクールでマオリの文化について学んだり、英語について学習しました。また、歓迎会のハカは迫力があり、見応えがありました。自分たちはそのお返しとしてパブリカを踊りました。

週末はホストファミリーと海を見に行き、海は透き通るほど青くカモメのような鳥がたくさんいて、ニュージーランドでも海は日本と似ているように感じました。その後、ショッピングモールで日本のお土産を買い、ちょうどハロウィンも終わった時期だったので、クリスマスの準備をしていました。ニュージーランドではクリスマスの準備が早いようです。

日曜日はホストファミリーのリ안의マウンテンバイ

ク場を見に行きました。マウンテンバイク場を見たのは初めてでしたが、大きなワクワク感に包まれました。次の日がドイツツアーで楽しみからか夜はあまり眠れませんでした。ドイツツアーでは山に行き、山の石は遠目からは小さく見えたが、近くで見るとその迫力に圧倒されました。

さよならパーティーでは、ホストファミリーとたくさんお話をしました。ホストファミリーとのお別れは寂しかったですが、楽しい思い出を作れてよかったです。

苦労した事もたくさんありましたが、留学に行けてよかったです。



ニュージーランド派遣について

ゆうべつ学園 8年 平形 楓

私は留学に行く前は「なんとかなるだろう」と思っていました。ホームステイ初日、ホストマザーやホストシスターが話している英語は事前研修で習っていたようなゆっくりで分かりやすい英語とは違い、早くて何を言っているのか想像もつきませんでした。ですが、ホストファミリーは優しく、スマートフォンや簡単な単語を言ってくれたり、ゆっくり話しジェスチャーなどで私に伝えるためにたくさん工夫してくれました。なので、私はある程度理解することができました。

私は英語がペラペラではないので、主に「Do you〜?」「Can I〜?」などの簡単な英語で質問をして会話を広げ英語でのコミュニケーションを取りました。

私がニュージーランドに行って驚いたことは、まずニュージーランドの生活では、私のホストファミリーはご飯をテーブルで食べないことです。日本ではテーブルで食べることが当たり前だけど、ニュージーランドには、食卓用のテーブルがない家があって、ソファーに座って

食べていたので驚きました。学校生活では、ブレスレットやネックレスをつけていたり、スカートがとても短かったです。私のホストファミリーは髪の毛を染めていて、「私の学校では髪を染めちゃいけないんだよ」と言ったら、とても驚いていました。先生もワンピースを着ていたし、学校バディの授業を見に行ったらテストをしていて、生徒が真面目にやっていなかったのが先生が回答用紙をビリビリに破いて、「Out Side」と言っていました。それをみて私は日本ではありえないことばかりで驚きました。



派遣に参加した中高生の保護者の声をご紹介します

- 事前研修からとても楽しいと笑顔が溢れていました。
- 事前研修を行うたびに自信がついてると思いました。初めての場所や人を苦手としていましたが、積極的に行くようになりました。
- 自信を持って行動することができるようになったと思います。
- 思ったことをたくさん話してくれるようになりました。
- 帰国後、英語の発音が良くなっていました。
- ニュージーランドのことについて事前に調べ準備したことで調べる力がついたと思います。
- 引率者もいるので安心して送り出せました。
- 新たな自分を発見できたり、日本や湧別ではできないことにチャレンジしてほしいです



上湧別学園



11/
7

歌を通した対話で合唱指導

チューリップ応援大使の半崎美子さんが特別授業

上湧別学園、ゆうべつ学園の5年生、芭露学園5・6年生を対象に、昨年度から小学校音楽の教科書に採用されている半崎さんの楽曲「地球へ」の合唱指導が行われました。

事前に合唱練習を行ってきた児童たちは、歌詞の内容について半崎さんと一緒に考え、感じ方を話し合いました。

授業の終わりには「春を受け継ぐチューリップ」を児童たちと歌い、「この曲の歌詞にある「若きつぼみたち」とは、まさにみなさんの事です」とメッセージを送り、授業を締めくくりました。

11/
8

響き渡る歌声

明日を拓くコンサート2025

このコンサートは、「ゆうべつ活性化実行委員会」が主催し、町民にもなじみ深い「春を受け継ぐチューリップ」をはじめとする半崎美子さんの歌をぜひ聞いてほしいと、地域を盛り上げるために企画されたものです。

コンサートでは小学校の教科書にも掲載された「地球へ」や読売新聞とのコラボ楽曲「人生案内と私」など全13曲が披露され、半崎さんがピアノの弾き語りやウクレレを演奏しながら歌う場面もあり、満席となった会場全体に半崎さんの思いの込められた歌声が響き、観客たちを魅了しました。

文化センターさざ波



文化センターTOM



ステージを占いブース、研修室をワークショップブースとして活用するなど、フロアを増設するほどの規模に

11/
16

冬のあったかマルシェ「ふゆまる。」

過去最大規模で開催

実行委員会（代表 細川佐和さん）主催による雑貨店などが集結したイベント「ふゆまる。」が開催されました。

今回で13回目となる恒例のイベントには、ハンドメイド作品や物販、キッチンカー、マッサージ、ワークショップ、占いなど、過去最大となる70店舗が参加しました。また、駐車場にはキッチンカーが並び、来場者が思い思いの料理を手にし、ロビーは多くの人で賑わいを見せていました。

来場者からは「ずっと前から楽しみにしていました」といった声が聞かれるなど、地域に根付いたおなじみのイベントとして定着しています。

文化センターTOM



来年度は第50回記念講座として、多彩な講師陣を招いて開講される予定です

11/
21

ヒグマはなぜ人里に出没するのか

湧別町民大学が最終回

北海道大学大学院獣医学研究科の坪田敏男教授を講師に迎え、講演が行われました。坪田教授は、野生動物、特に熊類の繁殖と生態に関する研究を専門としています。

講演では、ヒグマの糞分析や、最新技術であるGPSやヒグマ目線のカメラを用いた研究結果をもとに、季節ごとのヒグマの食性や行動が紹介されました。また、里山の消滅によるヒグマの「人馴れ」が進んでいることや、個体数が増加している現状も取り上げられました。

11/
21

湧別町の魅力を再発見

ふるさと観光教育の授業

総合的な学習の授業で、名桜大学の寺本潔特任教授を招いた「ふるさと観光教育」の授業が行われました。

この授業は自然や文化、観光産業などの教育資源を活用することにより、地域についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むことを目的に開催されたものです。

湧別町の魅力や地域の特色をグループごとにワークシートに書き出し、町外から湧別町に観光で訪れる人が何を求め、どうすれば楽しく過ごしてもらえるかを話し合いました。

ゆうべつ学園



地域への理解を深めながら、あらためて自分たちのふるさと湧別町の魅力を発見していました

11/
25

日本の伝統音楽に触れる

上湧別学園で和楽器出前講座

三曲協会（谷藤 彌会長）による「和楽器出前授業」が開催されました。三曲協会は日本の伝統的な楽器である箏、三味線、尺八の三種の楽器の愛好家たちが集まり、遠軽町を中心に活動している団体です。

谷藤会長から楽器の紹介があると、初めて見る楽器に子どもたちは興味津々。全校生徒で演奏に合わせて歌を歌い、楽器の奏でる多彩な音と一体となって楽しみました。

また、8・9年生は各楽器で演奏に挑戦。少しずつ音を出せるようになると笑顔があふれていました。

上湧別学園



「身近にない楽器に触れることができ、うれしかった」と話し、貴重な経験ができた様子でした

11/
29

一夜限りのゆうべつ屋台

屋台でないと！？開催

湧別町内の飲食店が特別メニューを提供する商工会主催イベント「屋台でないと！？」が開催されました。

今回で8回目を迎えたこのイベントでは、町内飲食店の一品料理を楽しむため、たくさんの方々が来場。

焼き鳥やザンギ、クレープなど、地域の飲食店の自慢の料理が並び、来場者はその味を堪能しました。また、会場ではバルーンアートやテーブルマジック、各テーブルを回りながらのサクソ演奏パフォーマンスや、はずれなしの抽選会も実施され、会場は家族連れを中心に大勢の来場者で賑わいました。

商工会横特設会場



テーブルを囲みながら楽しいひとときを過ごしました

11/
30

東京湧別会

第16回総会・懇親会開催

湧別町出身者の親睦団体「東京湧別会」（後藤義英会長）の第16回総会・懇親会が東京都内で開催されました。関東圏に住む約80人が出席。来賓として加藤町長、阿部湧別漁業協同組合長、橋本湧別町商工会長らが出席しました。

後藤会長が湧別産のホタテなど水産物のPRをしたのをはじめ東京湧別会の魅力を高めて新規会員を増やしたいと述べました。加藤町長は町長就任の挨拶をするとともに「（東京湧別会の皆さまが）ふるさとに帰省したいと思える街づくりをしたい」と抱負を語りました。

東京都



懇親会では、ふるさと湧別の話題で交流を深めました



ホームページでは随時まちの話題を掲載しています



文化センターTOM



親子でふれあう時間の大切さやものづくりの楽しさを実感することができました

文化センターTOM



湧高PRブースや探究学習のポスター掲示もあり、湧高を町の皆さんに知っていただける素晴らしい機会となりました

中湧別総合体育館



決勝戦では、両チーム粘りのあるプレーを見せ、長いラリーが続くレベルの高い試合になりました

役場上湧別庁舎応接室



毎年、新鮮でおいしい玉ねぎをありがとうございます

11/
30

親子でふれあう大切さを実感

湧別町家庭教育研修会

家庭教育に関心のある人たちが集い学ぶ機会として、教育委員会主催の家庭教育研修会が開催されました。研修会は講話と親子木工教室の2部構成で実施。12組の親子が参加しました。

前半はICT関連に造詣が深い(株)イワイの岩井孝浩さんを講師に、「インターネットと安心してつきあうために」をテーマにした講話が行われました。

後半は、(株)柴田建設従業員の皆さんの指導のもと、親子で3段ラックを製作する木工教室が行われました。

12/
6

冬もみんなで楽しもう

湧別高校生企画のイベント 冬湧祭

昨年に引き続き2回目の開催となったこのイベントは、総合的な探究の授業の「未来計画」の中で考案され、「イベントの少ない冬の期間に、地域の交流の場を作ろう」と企画されました。

会場では、ヨーヨー釣りや射的ができる「こども縁日」のほか、お菓子まき、ラグビーやシャボン玉の体験ができるブースなどが用意され、参加した子どもたちは笑顔で楽しんでいて、企画運営した高校生たちも充実感に満ち溢れていました。

12/
7

第50回記念

町民300歳バレーボール大会

「第50回記念大会 町民300歳バレーボール大会」が開催され、各自治会から6チーム、約90人の選手が参加。出場選手の年齢の合計が300歳以上になるよう構成されたメンバーで、この大会に向け練習を重ねた各チームは抜群の団結力を見せました。

優勝した「錦町・登栄床チーム」、残念ながら負けてしまった各チーム、普段はなかなか顔を合わせることもない方々も、これまで以上に自治会の結束が深まる1日となりました。

12/
10

今年もおいしい玉ねぎをありがとうございます

上湧別玉葱振興会が玉ねぎ2,000kgを寄贈

上湧別玉葱振興会の三品雅敏会長より、町と湧別福祉会に対し玉ねぎを寄贈いただきました。

加藤町長は「地元産品の寄贈は大変ありがたい。大切に使用させていただきます」とお礼を述べました。

寄贈いただいた玉ねぎは各認定こども園や保育所、各学園の給食用として子どもたちに振る舞われるほか、湧愛園やオホーツク園など福祉施設の食材として活用されます。

◆2025(第31回)日本管楽合奏コンテスト全国大会

(11/9：東京都)

湧別町立上湧別学園・ゆうべつ学園合同バンド
優秀賞・フォトライフ賞

予選審査を通過し、全国大会へ進出。優秀賞を受賞しました。

また、コンテスト全体を盛り上げる貢献をした団体に贈られるフォトライフ賞も受賞するなど、全国の舞台で実力を発揮しました。



◆第14回日本学校合奏コンクール2025全国大会グランドコンテスト

(11/15：千葉県)



湧別高校吹奏楽局 優秀賞

昨年に引き続き全国大会に出場しました。結果は惜しくも目標としていた最優秀賞を逃しましたが、全員が全力で楽しみ、想いを込めた演奏を披露しました。

◆第45回東日本中学生ラグビーフットボール大会・ラグビースクールの部 兼第31回全国ジュニアラグビーフットボール大会

(11/15-16：栃木県)

北海道ラグビースクール代表として 第9位

佐藤 太陽^{たいよう} (上湧別学園9年)

北海道内のラグビースクールから選抜されたメンバーとして数多くの選考合宿に参加し、実力と努力が評価され北海道代表選手に選出されました。

代表チームではキャプテンに任命され、チームをまとめる役割を果たし、全国大会ではトライを決めるなど活躍しました。



◆第44回全日本小学生バンドフェスティバル フロア部門

(11/22：大阪府)

上湧別学園金管バンド 銅賞

第44回(2025)北海道小学生バンドフェスティバルで金賞を受賞し、北海道代表として出場しました。

過去に全国大会の出場経験もある中湧別小学校金管バンドに上湧別、富美、開盛のメンバーも加わりました。上湧別学園金管バンドとして開校1年目での全国大会出場となり、新たな歴史を刻みました。





イベント・行事スケジュール

12月25日から2月20日までに行われるイベントや行事をお知らせします。



12月27日(土)	百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
1月 5日(月)	湧別町消防団出初式 (10:00 文化センターさざ波)
6日(火)	ジュニアスケート教室 (13:30 芭露スケートリンク) ～ 8日
7日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいっと。プラス」 (18:30 湧別総合体育館)
10日(土)	百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
11日(日)	令和8年「20歳の集い」 (13:30 文化センターさざ波)
14日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいっと。」 (10:00 湧別総合体育館)
17日(土)	わくわく体験塾「氷下釣り」 (9:00 芭露川) 百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
18日(日)	新春交歓カルタ大会 (9:00 上湧別農村環境改善センター)
20日(火)	チューリップ生きがい大学「映画鑑賞会」 (10:00 文化センターさざ波)
21日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいっと。」 (14:00 湧別総合体育館)
24日(土)	チャレンジスポーツスクール「スケート教室・氷上ホッケー」 (10:00 芭露スケートリンク)
25日(日)	eスポーツ大会「湧別e-Sportsフェスタ」 (10:00 文化センターさざ波)
28日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいっと。」 (10:00 湧別総合体育館)
31日(土)	湧別町スケート大会 (9:00 芭露スケートリンク)
2月14日(土)	チャレンジスポーツスクール「バドミントン」 (10:00 湧別総合体育館)
15日(日)	ONEOR8「ママごと」公演 (14:00 文化センターさざ波)
18日(水)	運動・トレーニング教室「ゆうふいっと。」 (14:00 湧別総合体育館) 運動・トレーニング教室「ゆうふいっと。プラス」 (18:30 湧別総合体育館)

長年にわたり町議会を支えられた議員お二人が退任されました

村田一志さん、酒井純一さんに町感謝状を贈呈

長きにわたり湧別町議会議員としてご活躍され、11月14日をもって退任された村田一志さん(富美)、酒井純一さん(中湧別中町)に、町から感謝状が贈呈されました。

お二人は、平成25年から3期12年にわたり湧別町議会の議員として在任され、町行政の発展にご尽力いただきました。また、村田さんは令和3年から議長として議会の要職を務められました。

加藤町長より、「長年にわたり行政の発展にご尽力いただき、ありがとうございました」とお礼が述べられ、感謝状が手渡されました。



村田一志さん



酒井純一さん

選挙管理委員が決まりました

任期満了にともない、11月21日の町議会臨時会において湧別町選挙管理委員会委員に次の4人が指名推選されました。任期は11月25日から4年間です。

- ・高橋 直司さん(上湧別屯田市街地)
- ・佐藤 敏正さん(北兵村一区)
- ・西原沙智恵さん(上芭露)
- ・近藤 優子さん(上湧別屯田市街地)



高橋直司さん



佐藤敏正さん



西原沙智恵さん



近藤優子さん

教育委員に 中川悠一さんを任命しました

任期満了にともなう湧別町教育委員会委員に中川悠一さん(北兵村一区)が任命されました。

中川さんの任期は12月1日から4年間です。



監査委員が決まりました

任期満了にともなう湧別町監査委員に水野豊さん(北兵村三区)と竹林直人さん(上湧別屯田市街地)が選任されました。

水野さんは、識見を有する方として選ばれた監査委員で、任期は11月25日から4年間です。

竹林さんは、議会議員から選ばれた監査委員で、任期は議会議員の任期(令和11年11月14日まで)です。



水野
豊さん



竹林
直人さん



「緑の募金」運動

ご協力ありがとうございました

湧別町げんきの森活動委員会が実施していました「緑の募金」運動は、遠軽地区森林組合様、湧別漁業協同組合様のほか上湧別学園、ゆうべつ学園、芭露学園にご協力いただき、多くの皆さまからの温かいお気持ちとともに、総額40,873円の募金をお寄せいただきました。



※「緑の募金」は、昭和25年から続いている運動で、花壇整備や植樹活動、森林学習などの緑化運動に活用されています。

税に関する表彰

芭露学園・町内の児童生徒が表彰されました



■最優秀賞

秋葉 陽向 (上湧別6年)

小学生の税に関する
絵はがきコンクール表彰



租税教育推進校表彰

長年の租税教育の推進や取り組みが評価され、芭露学園が紋別税務署長から表彰を受けました。

税に関する

高校生の作文表彰

■札幌国税局長賞

佐々木麻帆 (湧別高校3年)

■紋別税務署長賞

山根 櫻姫子 (上湧別5年)

■優秀賞

斉藤 真桜 (上湧別5年)

■努力賞

船橋 李奈 (芭露4年)

沼田 郁斗 (上湧別5年)

鈴木 心景 (上湧別5年)

中学生の税についての
作文表彰

作文表彰

■紋別地区納税貯蓄組合連合会会長賞

遠藤 迅 (ゆうべつ9年)

■紋別税務署長賞

後藤 恋那 (ゆうべつ9年)

広告

カーライフプラン
金利割引実施中

所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。窓口へお問い合わせください。

ふれあい さわやか
遠軽信用金庫

温まり感が違います!!
薬草湯
木曜日は
の日

謹賀新年 1月は週替わり
よもぎ配合の
和種ブレンド湯です
色んな薬草をお楽しみください♪

かみゆうべつ温泉 **チューリップの湯**
湧別町中湧別中町 TEL(01586)④-1126 沢口産業株式会社

**ビジネス宿泊施設
ワークマンハウス**
TEL:011-206-1831

全室完全個室
駐車場完備
朝昼夕3食付き
素泊まり5,900円~
3食付き8,500円~

相続手続

「親の名義のままの土地」はありませんか?
祖父母兄弟姉妹相続も、お問い合わせください

デジタル行政書士®(登録6924518)
寺西行政書士事務所
Tel **090-6211-8230**
湧別町北兵村一区101番地11 旧てらにし商店

税

書道・標語

入賞作品

湧別町租税教育推進懇話会では、租税教育を推進するため町内義務教育学校の児童・生徒に向けた活動を行っています。

3～6年生を対象に書道を通して「税」の言葉を学び、9年生には標語を通して「税」の意識や親しみを深めてもらおうと、毎年、書道・標語作品を募集しています。

今年は、書道に195点、標語に32点もの作品が寄せられました。町内学校長および懇話会会長による審査が行われ、多くの力作の中から、最優秀賞・金賞・銀賞・銅賞が次のとおり選出されましたのでお知らせします。

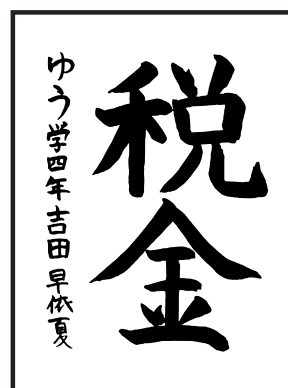
入賞された児童生徒の皆さん、おめでとうございます。

※敬称略・順不同

【書道 3・4年生の部】

■最優秀賞

吉田 早依夏 (ゆうべつ4年)



■金賞

畠山 志友 (ゆうべつ3年)
柳 ひより (芭露4年)

■銀賞

小形 もあな (ゆうべつ3年)
片山 緒斗 (上湧別3年)
井上 心晴 (上湧別4年)
船橋 李奈 (芭露4年)

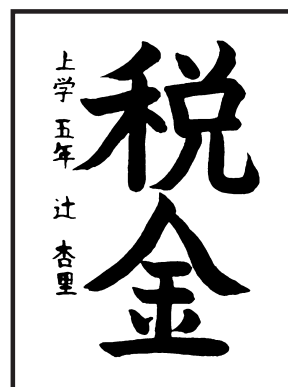
■銅賞

村上 乙葉 (上湧別3年)
横幕 永翔 (上湧別3年)
如澤 美羽 (芭露3年)
丸山 絢斗 (芭露3年)
坂東 陽咲 (ゆうべつ4年)
齋藤 羽琉 (上湧別4年)
齊藤 真心 (上湧別4年)
佐藤 楓香 (上湧別4年)

【書道 5・6年生の部】

■最優秀賞

辻 杏里 (上湧別5年)



■金賞

青山 凜 (ゆうべつ6年)
中村 真綾 (ゆうべつ6年)

■銀賞

中川 紗羽 (上湧別6年)
橋本 憲吾 (上湧別6年)
齊藤 奈々美 (芭露6年)
長岡 桜弥 (芭露6年)

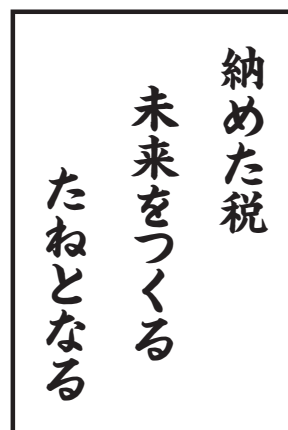
■銅賞

後藤 莉咲 (ゆうべつ5年)
野津 奏多 (ゆうべつ5年)
山根 櫻姫子 (上湧別5年)
松本 陽菜乃 (芭露5年)
森谷 晴琉 (ゆうべつ6年)
岩瀬 歩華 (上湧別6年)
水牧 千里 (上湧別6年)
横幕 紗采 (上湧別6年)

【標語 9年生の部】

■最優秀賞

竹中 友希 (芭露)



■金賞

山下 未来 (ゆうべつ)
後藤 恋那 (ゆうべつ)

■銀賞

畠山 結心 (ゆうべつ)
宇佐美 佑翔 (上湧別)
柿崎 姫利 (上湧別)
黒田 風斗 (上湧別)

■銅賞

中村 創真 (ゆうべつ)
本間 絢音 (ゆうべつ)
青木 奏柊 (上湧別)
後藤 愛依 (上湧別)
佐々木 菜緒 (上湧別)
佐藤 太陽 (上湧別)
吉岡 然 (上湧別)
吉澤 諒祐 (芭露)

湧別町租税教育推進懇話会は、紋別税務署・紋別道税事務所・町の税務関係者や教育委員会・学校・PTAの町内の教育関係者、商工会・青色申告会・法人会の町の民間団体関係者で構成された団体です。

年末年始の役場等の業務のお知らせ

○通常業務 ×休み・運休日

施 設 名 等	令和7年12月				令和8年1月					
	28日 (日)	29日 (月)	30日 (火)	31日 (水)	1日 (木)	2日 (金)	3日 (土)	4日 (日)	5日 (月)	6日 (火)
役場（上湧別庁舎・湧別庁舎）	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○
中湧別出張所	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
芭露出張所	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○
認定こども園・保育所 児童・子育て支援センター	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○
湧別図書館・中湧別図書館	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
ゴミ収集	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○
えんがるクリーンセンター えんがるリサイクルセンター	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○
町営バス	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
文化センターTOM	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
文化センターさざ波	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
ふるさと館JRY	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
社会福祉会館	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○
湧別総合体育館	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
中湧別総合体育館	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
上湧別農村環境改善センター	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
芭露畜産研修センター （ファミリースポーツセンター）	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
湧別屋内ゲートボール場	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
中湧別ゲートボール場	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○

※役場（上湧別庁舎・湧別庁舎）には、12月30日から1月4日まで職員がおりませんので、お急ぎの御用の方は下記までご連絡をお願いします。なお、ご連絡いただいた際に留守番電話サービスに接続された場合は、お名前とお電話番号をお知らせください。

※12月30日から1月4日までは、上芭露・計呂地郵便局での住民票などの発行業務は行いません。

お急ぎの御用の場合の連絡先

死亡届などの戸籍に関すること	8-7308（住民税務課長 岩瀬）
除雪に関すること	2-3369（建設課長 北林）
その他お急ぎの御用の方	5-3830（総務課長 坂本）

広 告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います



株式会社

えんがる葬祭

☎0158-42-9898

遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933

式場収容数

- ・大ホール400名
- ・中ホール200名
- ・小ホール100名
- ・法事ホール

**24時間
受付**

知っていますか？ 「フレイル」に要注意！

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか？『虚弱』という意味で、生活する中で不自由はありませんが、身体が弱っていて介護が必要になる危険性が高い状態のことを指します。

フレイルの状態であれば、生活習慣をほんの少し見直すだけで、以前の健康な状態に近づけることができます。いつまでも健康で自分らしく過ごせるように、生活習慣をチェックしてみましょう。

まずはひとつ！できることから始めてみましょう。

「実際に何をしたらいいの？」「続けるのが難しい…」「家族がフレイル？介護？」といった困ったことや心配ごとがありましたら、地域包括支援センターへお気軽に相談ください。



■フレイルにならない生活習慣

◆食事

- ・ 1日3食、決まった時間に食事をする
- ・ 肉、魚、卵などのたんぱく質をしっかりと摂る
- ・ 牛乳やヨーグルトを1日1回食べる

◆運動

- ・ 天気が良い日は外に散歩へ出かける
- ・ 運動中は水分補給をする
- ・ 家の中でもこまめに体を動かす

◆睡眠

- ・ 食後すぐに横にならない
- ・ 昼寝は30分以内にする

◆口腔ケア

- ・ しっかり噛んでゆっくり飲み込む
- ・ 食後と寝る前の歯磨きを忘れずに行う
- ・ 年2回は歯科検診を受ける

◆社会参加

- ・ 規則正しい生活リズムをつくる
- ・ 週に1回は外出する
- ・ 自治会や趣味の集まりに積極的に参加する

～ヘルシースプーン会の時短・かんたん♪レシピ～

今より野菜 ^{プラス} + 1皿

キャベツと厚揚げの オイスターソース炒め



1人分 *エネルギー：133kcal *塩分：0.6g

材料（4人分）

キャベツ	…250g
厚揚げ	…250g
にんにく	…1片
油	…小さじ2杯
A {	オイスターソース …小さじ2杯
	しょうゆ …小さじ2杯
	こしょう …少々

作り方

- ①キャベツは細切りにし、厚揚げは5mmほどの幅に切ります。にんにくは薄切りにします。
- ②フライパンに油を熱し、にんにくを加えて炒め、香りが出たらキャベツと厚揚げを加えてサッと炒めます。
- ③キャベツが少ししんなりしたら、Aを加えてよく混ぜ合わせ、完成です。

会員募集中！



ヘルシースプーン会事務局：健康こども課
会の活動、その他のレシピはこちら



輝け ゆうべつ人

親子で楽しくふれあひながら

リトミック

インストラクター

奥田 祥恵



音楽に合わせて身体を動かし、音感やリズム感、集中力、思考力などを鍛える。子どもたちの能力を幅広い分野で、伸ばすことができるスイス発祥の音楽教育方法リトミック。

リトミックインストラクターの奥田祥恵さんは東京で音楽活動をしてきた経歴を持ち、保育教諭として音楽表現の授業を行う傍ら、リトミックの講師として幼稚園で音楽遊びを教えていた。現在は、子育て支援センターで生後5カ月から未就学児までの子どもを対象として、リトミック講座を行っている。講座では、童謡を中心としたピアノ演奏を取り入れており、生の音源を使うことをこだわりとしている。

奥田さんはリトミックについて、「音楽以外の分野にも生きる能力を楽しく育てることができると、子どもたちの喜ぶ姿を見ると、嬉しい気持ちになると同時にモチベーションにも繋がる。」と教育と子育て、両方の観点からその魅力を語る。

リトミックの可能性

リトミックは脳の機能を活性化させるとされており、昨今では、認知症予防を目的にリトミック講座を受ける団体もある。

リトミック講座は、子どもの成長から高齢者の健康増進まで、世代や目的を問わず受講できるだけでなく、人との交流の場としても利用することが出来る。他のインストラクターと知り合う機会や、シニア向けのリトミックに講師として招かれるなど、リトミックを通じて多くの人と交流をしている奥田さん。今後の活動について「もっと多くの人にリトミックを広めていきたい」と抱負を語った。



シニアリトミック講座の様子

町の動き

11.21~12.10



人口と世帯(12.15)

人口：(男) 3,734人(-4)
(女) 4,066人(-1)
計 7,800人(-5)
世帯数： 4,061戸(-2)
()は前月対比



お誕生おめでとう

齊藤 ^{りっか} 六花ちゃん (女) 富美
(幸広・萌恵さん)
高木 ^{かい} 快ちゃん (男) 上湧別屯田市街地
(悠斗・悠香さん)
五十嵐 ^{ゆき} 友紀ちゃん (女) 東
(貴幸・真理さん)
辻 ^{さくま} 朔真ちゃん (男) 緑町
(佑真・かりんさん)



まちへ善意をありがとう

・雑巾 チューリップの会 様
・学校給食用玉葱 上湧別玉葱振興会 様

令和7年生まれの1歳になったお子さんを対象に掲載しています。
(写真：保護者提供)



石山 煌ちゃん
令和7年1月15日生まれ
「得意なポーズはピースです☺」
寿樹・詩穂

いちょう さくの しん
**杉森一郎さん、橋本朔之進さんが通う
旭川工業高等専門学校が高専ロボコン2025全国大会で
見事優勝！**



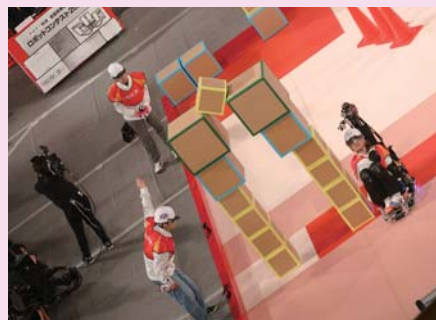
前列中央：杉森一郎（リーダー）
前列右：橋本朔之進

近畿や九州地区の強豪校が、いかに高いゲートを積み上げ高い得点を獲得するか競い合う中、旭川高専は、素早く確実にゲートを積み終え、時間内に繰り返しゲートを周回することに特化。通過得点を地道に稼ぐ戦略で対抗すると、見事大会最高得点を獲得し、22年ぶりとなる優勝を果たしました。

最も栄誉あるロボコン大賞は惜しくも逃したものの、1回戦から5試合を勝ち抜き、本大会を最も盛り上げたチームとなりました。

ともに上湧別中出身で旭川工業高等専門学校5年の杉森一郎さんと橋本朔之進さんが所属する同校「ロボットラボラトリ」クラブが、東京で行われたアイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025全国大会で見事優勝しました。

行われた競技は、制限時間内にロボットで段ボール製のボックスを積み上げてゲートを作り、そのゲートを人が乗った台車と共に通過するというもの。



操縦：杉森一郎
乗車：橋本朔之進



この広報紙は町民有志プロジェクトにより選定された5色のゆうべつの色を基調としています。